

# 大地震発生時の避難マニュアル (生田キャンパス) 【教員用】

## 大地震発生時の初動マニュアル

### 地震発生時の行動

- (1) 身の安全の確保！(落下物に注意)  
机の下などへ！書棚・ロッカー等の備品から離れる。

### 地震直後の行動

- (1) 余震に注意  
天吊りプロジェクタやガラスからは離れるよう学生に指示
- (2) 火の元確認。初期消火！  
ガスの元栓、コンセント、実験器具を確認  
出火した時は、落ち着いて消火活動と守衛所への通報
- (3) 避難口の確保、避難場所の確認  
出入口等を開け、逃げ道を確認。  
あわてて外部に出るとかえって危険な場合がある。
- (4) 館内放送に注意、その指示に従う。  
原則として中央校舎・第二校舎A館・D館は屋内待機  
それ以外の建物は屋外避難
- (5) 教室、実験室の安全を確認  
声をかける、傷病人がいないか確認  
作動中の実験装置等を停止

### 地震後の行動

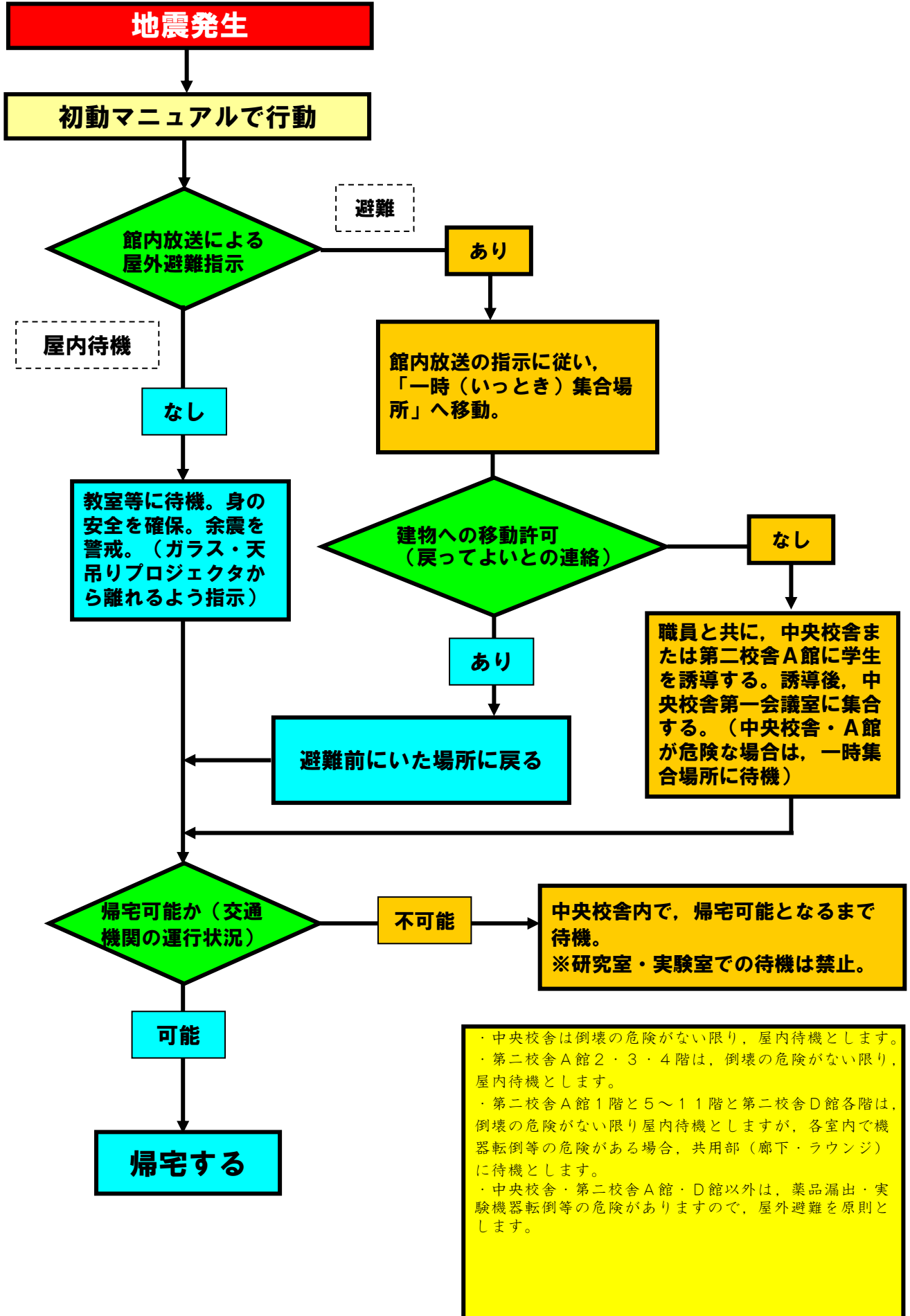
- (1) 館内放送の指示に従う。
- (2) 教室、実験室の安全再確認  
火の元と薬品等のチェック。薬品のある部屋は窓を開ける。
- (3) 周囲の状況を確認する。

以下、避難フローへ

緊急連絡先：正門守衛所 (044-934-7983)  
理工学部事務室 (044-934-7560)  
農学部事務室 (044-934-7570)



# 避難フロー



# 大地震発生時にはこうしよう

## 【日常的な備え】

教室内に、緊急時屋外避難経路図を掲出していますので確認してください。

## 【地震時の心構え】—落ち着いて行動—

地震時の生命の危険性は、発生した瞬間とその後起こる火事にあると言われています。大きな揺れでも1～2分です。まずは、**身の安全を確保して、落ち着いて行動をしてください。**本学の建物は耐震建築がなされており、建物が容易に倒壊するということはないと想定しています。

## 【地震発生時の行動】—身の安全確保— <自助>

**落下物や転倒物から身の安全を確保するため、机の下に隠れたり、自動販売機や書架、天吊りのプロジェクタ・モニター、ガラスなどから離れるようにしてください。また、学生にも同様の指示をしてください。**

## 【地震直後の行動】—避難口の確保と火の始末—

小さな揺れのときや大きな揺れがおさまったときに、出入口を開けて避難口を確保し、速やかに火の始末を行ってください。

## 【地震後の行動】—状況確認と救出・消火— <共助>

余震に注意しながら、周りの状況を確認し、傷病人等助けを必要とする人や、火災を発見したら、周りの人と協力して対応するとともに、最寄りの事務室や守衛所にも連絡をしてください（事務室等から119番通報します。）。**消火の際は、身の安全を第一に考え、消火器では消えないような火災のときは、直ちに避難してください。**

## 【エレベーター】

大きな地震の時は最寄り階に止まるように設定されていますが、乗っているときに地震に気づいた際は、全ての階のボタンを押して、停止した階で降りてください。また、万が一、降りられなくなったら、**EV内の非常ボタンを数秒間押しして警備員に連絡した後、EV保守業者による救助を待ってください**（閉じ込めの発生しているEVは業者の最優先対応となります。）。

## 【屋外避難】

中央校舎と第二校舎A館、第二校舎D館については、実験室階の共用部（廊下）が広いので地震が発生しても身近に危険がなければ屋外避難する必要はありません。しかし、館内や近隣での火災や、壁に大きな亀裂が走るなど躯体への影響が懸念される場合には、屋外へ避難することになります。他の建物については、実験器具・書架の転倒や薬品容器の破損による有毒物質の発生が懸念されるため、屋外避難が原則となります。

館内放送で指示がありますので、「一時（いつとき）集合場所」へ行き、学生の安否確認および地区防災本部指示に従った誘導を行ってください。

※生田キャンパスでは、原則、川崎市多摩区で震度「4」以上を計測した場合に館内放送を行います。また、震度5弱以上と想定される場合に、中央校舎・第二校舎A館・D館以外の建物について屋外避難を実施します。

## 【本学の一時（いつとき）集合場所の指定】

**各建物の一時集合場所は、原則として次のように指定します。**ただし、状況に応じて変えることもありますので、館内放送に注意してください。事務室員が安否確認等を行いますのでご協力ください。

- 第一校舎1・2・3・5・6号館、37号棟、植物工場基盤技術研究センター⇒南園場
- 図書館、ハイテク・リサーチ・センター、⇒農学部50周年記念庭園
- 中央校舎、第一校舎4号館、学生会館・部室センター、食堂館、構造物試験棟、振動実験解析棟  
⇒中央校舎北側空地
- 第二校舎4号館、5号館、D館別館⇒テニスコートC、北園場
- 体育館⇒バレーコート
- 登戸研究所資料館⇒資料館北側空地
- 第二校舎A館（倒壊・火災危険時のみ）・2・6号館、⇒テニスコートA、バレーコート
- 第二校舎D館（倒壊・火災危険時のみ）⇒テニスコートA・B

※なお、上記に記載されていない建物については、上記の各建物の一時集合場所を参考に、安全と思われる最寄りの一時集合場所に避難するようにしてください。

## 【大学からの情報の伝達・安否確認】

地震発生後、体制が整い次第、大学HP及び所属の学部事務室から「0h-o!Meiji システム」を通じてお知らせします。その際に大学への安否連絡方法もお知らせしますので、その指示に従って御連絡ください。Twitter（公式アカウント@Meiji\_Univ\_PR）でも情報発信を行います。

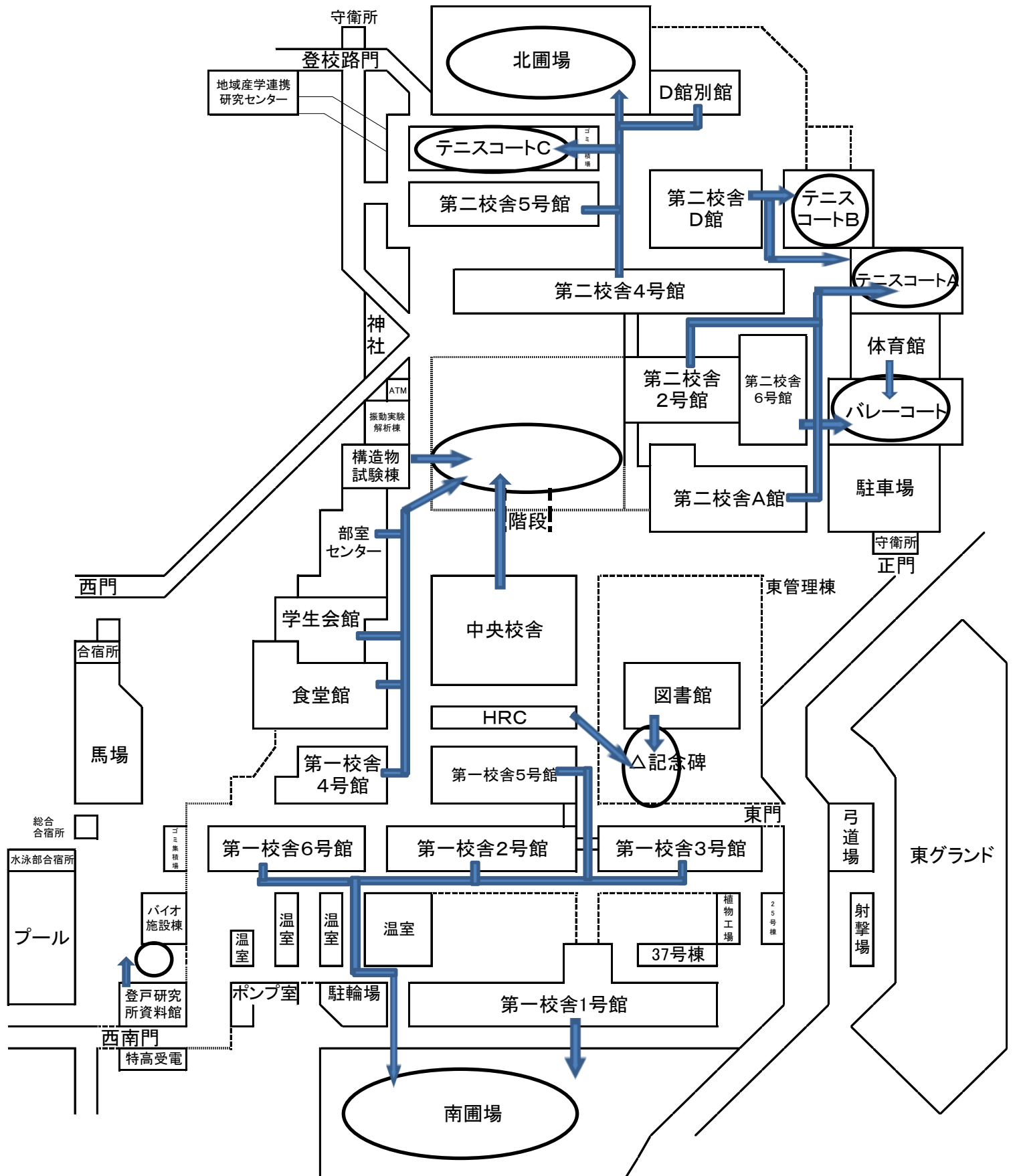
# 屋外一時集合場所

③

至向ヶ丘遊園駅

小田急線

至生田駅



○印が屋外一時集合場所です  
〔生田〕避難マニュアル(教員用)